

平成19年10月5日(金)9:30～9:35  
「第3回アジア科学技術フォーラム」  
北澤宏一理事長 開会挨拶

皆様、本日はご多忙の折「第3回アジア科学技術フォーラム」へご参加を賜り誠にありがとうございます。特に海外からお越しのスピーカーの先生方には厚く御礼申し上げます。本フォーラムは、私ども科学技術振興機構が中核となり、文部科学省科学技術政策研究所、防災科学技術研究所、そして理化学研究所との共催により、平成17年度から毎年開催されてきたものです。本フォーラムの主旨として、「アジア諸国の持続的発展のため、「アジアが抱える環境・エネルギー問題、自然災害対策、感染症対策等の地域共通課題の科学技術による解決」と「アジアの科学技術レベルの向上」の2つがあります。

平成17年度の第1回フォーラムでは、「科学技術政策」、「環境・エネルギー問題」、「自然災害対策」の3つの分科会に分かれて、科学技術政策という観点からの各国の情報交換や課題の紹介、環境・エネルギー問題における共有認識の重要性、自然災害被害の軽減に向けた各国の取り組みなどについて、それぞれ議論をおこないました。また昨年の第2回フォーラムにおいては、既述の3つの分科会に加え、同じくアジアが抱える地域共通の社会的課題として「感染症対策」について議論する分科会が新たに加わりました。フォーラムの内容としては第1回のそれぞれの議

論を踏まえて、人類共通の財産である科学技術の成果を十分に活用しアジア諸国・地域の繁栄に資するため、社会的課題への対応策についてさらに議論を深めていただきました。

本日は、基調講演と4つの分科会で多くの発表とディスカッションが予定されております。本日のフォーラムが、ご参加の皆様にとって十分な情報や意見の交換の場となることを期待しております。本年が最終年度となりますことから、本日の議論、また、3年間の議論の総まとめといたしまして、各分科会の提言・フォーラムとしての声明を本日、発表したいと考えております。

最後になりますが、基調講演をしていただく阿部先生、発表をしていただくスピーカーの皆様、各分科会をとりまとめていただく座長の方々、松浪文部科学副大臣、共催者であります文部科学省科学技術政策研究所、防災科学技術研究所、理化学研究所、本日ご参加いただいております皆様方、ならびに本フォーラムの開催にご尽力いただいた多くの関係機関、関係者の皆様のご支援に深く感謝を申し上げ、私の挨拶といたします。ありがとうございました。

(了)